

## ニュートン別冊『統計と確率 改訂版』（第1刷） 正誤表

ニュートン別冊『統計と確率 改訂版』に、以下の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

ページ	位置	誤	正
10	図の説明文 下から2行目	平成24年	平成28年
11	本文右コラム 上から6行目	757万円	734万円
69	下図、見出し「開票が進む 口ともに予想が正確になる」 の説明文上から6行目	なお、上	なお、これら
178	本文右コラム 上から4行目	$t = -2.83$	$t = -3.26$
178	本文右コラム 下から4行目	差が小さく-1.0	差が小さく-0.5
178	左下の図	<p>t分布のグラフ。確率密度関数の曲線が示されています。有意水準は左右の裾野にあり、t = ±1.96の位置に赤い縦線が引かれています。95%範囲（差が有意で無い区間）はt = -1.09からt = 1.09までの範囲で示されています。t = -2.83の位置に赤い縦線が引かれ、その下の領域が赤く塗りつぶされています。x軸には-2.83, -1.96, -1.09, 0, 1.96の値が記されています。x軸の下には「差が大きい」というラベルが2箇所あります。</p>	<p>t分布のグラフ。確率密度関数の曲線が示されています。有意水準は左右の裾野にあり、t = ±1.96の位置に赤い縦線が引かれています。95%範囲（差が有意で無い区間）はt = -1.09からt = 1.09までの範囲で示されています。t = -3.26の位置に赤い縦線が引かれ、その下の領域が赤く塗りつぶされています。x軸には-3.26, -1.96, -1.09, 0, 1.96の値が記されています。x軸の下には「差が大きい」というラベルが2箇所あります。</p>
188	説明文	<p>右のグラフで、曲線とx軸を囲んだ領域のうち、xが0からzまでの領域の面積をあらわした表。たとえば、z=1.64のときは、「1.6」の行と「.04」の列がクロスしたマスの数字(0.44950)を見ればよい。</p>	<p>Z = 0.00 ~ 3.99 に対する、正規分布の右図で赤色の領域の確率を示した表。たとえば z=1.96 のときは、「1.9」の行と「.06」の列が交差したマスの数字 (0.47500) を見ればよい。</p> <p>「右図」</p> <p>正規分布の確率密度関数の右側の領域が赤く塗りつぶされています。x軸上の位置がzとラベルされています。</p>